

平成 29 年 5 月 17 日

鹿児島大学病院 循環器病センター 心臓血管内科で
心房細動に対するカテーテルアブレーションの治療を受けた患者さんへ
(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院心臓血管内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

心臓カテーテルアブレーション時の点滴過負荷による心不全発症の有無に關与する因子について

【研究機関】

鹿児島大学病院 循環器病センター 心臓血管内科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 循環器病センター 心臓血管内科
教授 大石 充

【研究の目的】

心房細動におけるアブレーション術中は様々な合併症を予防するために点滴やアブレーションで使用するカテーテルより輸液負荷を行っております。細心の注意を払っておりますが、術後、患者さんの中には負荷により心不全症状を伴う方がいらっしゃいます。どのような方に症状が起こりやすいか解析することで今後の予防につなげていくことができます。

【研究の方法】

この研究は過去平成 21 年 4 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までの 7 年間に、鹿児島大学病院心臓血管・高血圧内科で心房細動と診断され、当院で初めてカテーテルアブレーション術を受けられた患者さん約 450 名に参加のご協力をお願いし、平成 30 年 3 月 31 日まで調査を行います。すでに受けられた心臓エコー・経食道エコー・採血・アブレーション治療中の看護記録などのカルテ情報を使い、データ解析を行います。

●対象となる患者さん

平成 21 年 4 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日までに、鹿児島大学病院 循環器病センター 心臓血管内科で心房細動と診断され、カテーテルアブレーションの治療を受けた患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

当該アブレーション術を受けられた前後の心臓血管エコー・経食道エコーデータ、採血データ、アブレーション術中の看護記録・術中データ、術前の年齢・性別・身長・体重・既往歴・飲まれていた内服薬（個人が特定されることはありません）

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科高血圧・心臓血管内科学の研究費（使途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 循環器病センター 心臓血管内科

特任助教 奥井 英樹

電話 099-275-5318 FAX 099-265-8447